

養寿寺と康全寺

文化振興課市史編纂担当 松井直樹

養寿寺(下矢田町)と康全寺(満全町)は、この地を訪れた僧侶が鎌倉時代以前に開かれた天台宗の仏堂の荒廃を憂い、室町期に浄土宗や曹洞宗に改めて再興した寺院で、吉良氏の女性たちと関わりを持ちながら伽藍が造られました。

彰空宗永が寛正2(1446)年に浄土宗に改めて中興した寺は、文明(1469)86年)の頃に吉良氏に嫁いだ二条家の娘の葬儀を行い、養寿寺殿という法号を授けて冥福を祈りました。これによって、この寺は養寿庵(寺)と称するようになりました。以降、吉良氏の援助の下で寺は栄え、多くの信徒が集まりました。戦国時代になると仏堂や法堂が再び朽ちていきましたが、江戸時代前期に西尾城主土井利長が堂宇を再建しました。

却外乗空が応永5(1398)年に西尾城内八幡宮の六坊のうち残っていた神宮寺の釈迦堂と金剛院の大日堂を再興しようと布教活動しました。吉良満貞の娘はこれに帰依して仏門に入り、吉良氏は禅師を庇護して神宮寺と金剛院を一つにして寺を建てました。応永10年には吉良満貞の娘の葬儀が行われ、この寺はこの娘を開基満全寺殿として祀り、吉良山満全寺と称しました。その後、天正9(1581)年、徳川家康が寺領を安堵して西尾山康全寺と改称し、鎮城の禅寺としました。寺は天正18年頃には三之丸から城下に移転しました。

現在、この二つの寺院では徳川家康との関係が強調されていますが、吉良氏ゆかりの女性の法号を寺の名前にするなど、この地を治めていた吉良氏の庇護の下で発展していた寺院でもあるのです。

キッズアルバム



古澤 芽歩ちゃん
(住崎六丁目)

平成22年10月生まれ
芽歩ちゃんの笑顔に毎日癒やされてるよ。元気に大きくなってね。



森田 咲良ちゃん
(上矢田町)

平成23年3月生まれ
好奇心旺盛な咲良ちゃん! たくさん食べてもっと大きくなあれ。



野寺 峻平くん 淳平くん
(下町)

平成22年5月生まれ
しゅんじゅん、ただ今2歳。大きくなったね。いつまでも仲良く双子でいてね。



杉田 絢音ちゃん
(鶴城町)

平成22年4月生まれ
かわいくて、ひょうきん者の絢ちゃんのことがみんな大好きだよ。



山下 菜七嘉ちゃん
(斉藤町)

平成23年3月生まれ
元気でおてんばななちゃん♡これからもたくさん笑顔を見せてね。



石川 和希くん
(吉良町)

平成22年5月生まれ
わが家の太陽カズくん♡いつもニコリ笑顔がありがとね☆



深津 怜哉琥くん
(米津町)

平成23年5月生まれ
怜哉琥は家族の幸せのもと♡強く優しくたくましく育て!! (笑)

